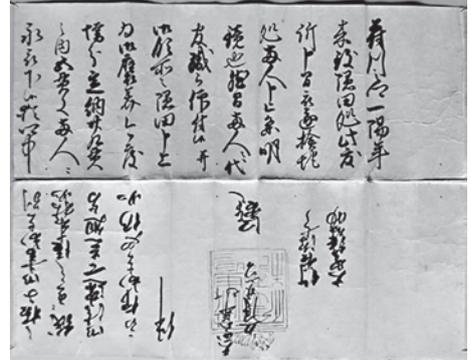


## 新指定文化財

## 市指定文化財

○菅間竹ノ谷家文書すがまたけの や け もんじょ（有形文化財・古文書 平成25年3月25日指定）

菅間の旧家、竹ノ谷家に伝わる総点数770点の古文書である。竹ノ谷家は、広大な敷地に二重の堀を巡らし、人々から「ほんのうち（堀の内）」と通称されている。先祖の源七（勘解由）は、後北条氏の時代に代官職を務めた。この竹ノ谷家の古文書の内訳は、中世文書が4点、近世文書が229点、近代・現代文書が537点となる。中世文書は、中世末の後北条氏による領国支配のありさまを知り得る重要な史料である。特に、検地や隠田摘発の様子、代官職に任命された在地郷村の土豪の役割などを明らかにできるものである。近世文書については、竹ノ谷氏が江戸時代を通じて菅間村の名主役を務めていたことから、村政の基本となる史料が揃っている。近代・現代文書については、芳野村村長当時の史料や自家についてまとめたものなどがある。竹ノ谷家文書は、各時代のすべての史料が重要な内容をもっており貴重なものである。



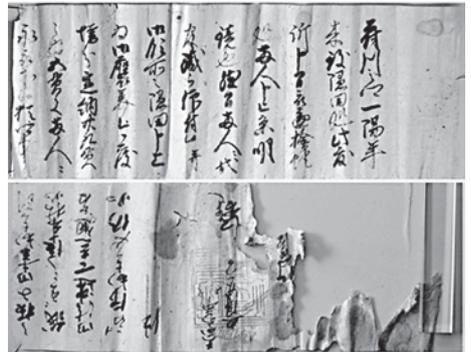
〔天正五年丁丑五月廿六日 北条氏印判状 写 江雪奉（折紙）〕

○谷中大野家文書やなかおのの け もんじょ（有形文化財・古文書 平成25年3月25日指定）

谷中の旧家、大野家に伝わる3点の古文書である。大野家は、越前大野がその発祥の地であると同家の系図に示されている。故があつて武蔵河越に転移し谷中に居住したという。後北条氏の時代に代官職を務めた。

大野家文書3点は、菅間竹ノ谷家文書の中世文書4点のうち3点と原文書・写の違いはあるが、内容は同じものであり貴重なものといえる。

なお、菅間竹ノ谷家文書・谷中大野家文書の原文書・写の双方が残存することは、いずれも宛所が「竹谷 大野」の併記である点から、後北条氏などから連名で出された文書のその後のあり方を考えるうえで重要である。



〔天正五年丁丑五月廿六日 北条氏印判状 江雪奉（折紙）〕

○銅造十一面観音懸仏どうそうじゅういちめんかんのんかけぼとけ（有形文化財・工芸品 平成25年3月25日指定）

懸仏は、仏が衆生を救済するため、仮に神の姿をとって現れること（権現）だとする神仏習合思想から生じた本地垂迹説に基づいてつくられたものである。この懸仏の場合、神の依代である鏡ほんじぶつに十一面観音が出現した姿を表現しており、円形の鏡板と仏像を一体で鑄造したものである。

この懸仏は、笠幡の神田家に伝わったもので同家の屋敷神として祀られる稲荷神社に奉納されたと考えられ、作風から狭山市柏原に栄えた「柏原鑄物師」の製品と思われる。神田家に近い尾崎神社の懸仏とともに当地域に存在する柏原鑄物師の作例として貴重である。



### ○砂氷川神社のシラカシ（記念物・天然記念物 平成25年3月25日指定）

砂氷川神社<sup>しゃそう</sup>叢の東端にあるシラカシは、幹周り3.88m、樹高18.6m、根回りは12.3～16.08mである。枝張りは、東西14.3m、南北18.6m。樹齢は、シラカシが植栽される例が多いことから神社の創建年の延享元年（1744）頃に植栽され、270年程度と推定される。樹勢は良好。樹木としての成熟度は高く老齢化している。枝振りは一均一ではなく東側に多く張り出している。また、全面に大小のコブがある根元部分は、神社石垣を抱き込むような形態を成しており、根の成長に伴って石垣は膨出している。

川越の原風景が照葉樹林帯の中にあることから市内全域で人々の生活と密着してきたシラカシ、その中で威容を放つ当シラカシは「川越市の木」のシンボルとしての位置付けは意義深い。



### ○砂氷川神社のイヌツゲ（記念物・天然記念物 平成25年3月25日指定）

砂氷川神社境内の南西端にあるイヌツゲは、樹高5m、根回り9.12m～11.22mである。根元から3本株立ちしている幹周りは、それぞれ104cm・85cm・104cmである。枝張りは、外周25.28m。樹齢は、幹周りが104cmであることから当社創建時の延享元年（1744）頃から存在したと考えられ、270年程度と推定される。樹勢は良好。

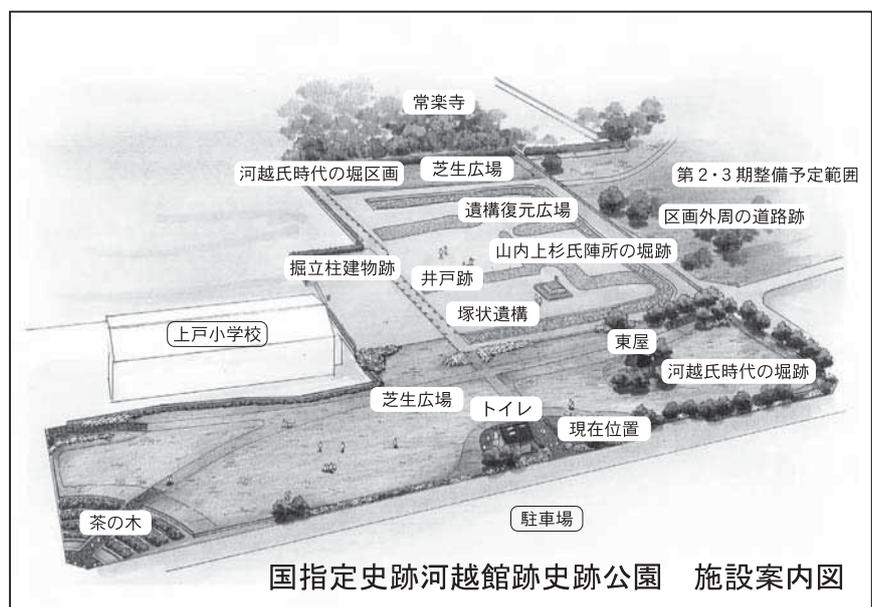
イヌツゲは、常緑の低木で、最大樹高で5m前後である。本州以南に自生するが、県内では通常樹高2～3mである。良く分枝し、雌雄異株である。一般に湿気のある土壌を好み、半日陰を好むが、成木では乾燥・寒さ・日照にも耐え萌芽力も強い。当社のイヌツゲは、際立つ大きさを誇り江戸期からの文化的伝承物としての価値が認められる。



## 国指定史跡「河越館跡」

河越館跡は、入間川の左岸、上戸地区の常楽寺を中心とした地域に位置し、その指定区域面積は、48,509.18㎡である。当館跡は、鎌倉～南北朝時代に武蔵国で有力な武士であった河越氏の館跡であり、昭和59年12月6日に国の史跡として指定を受けている。

館跡の整備を進めるにあたって、川越市は昭和61年に「史跡河越館跡保存管理基本計画」を策定。続いて、平成12年度には、「河越館跡整備基本計画」を策定した。現在は、これらの計画に沿って

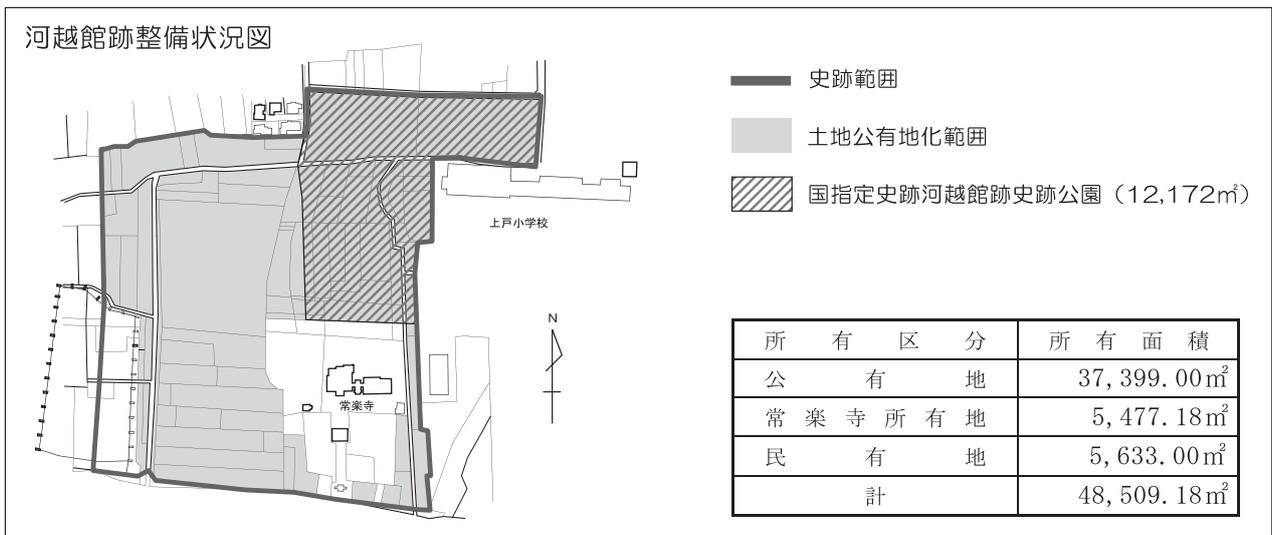


国指定史跡河越館跡史跡公園 施設案内図

史跡整備事業を行っている。

整備事業は、国・県の補助をうけ、土地の公有地化、遺跡確認発掘調査とその成果に基づく遺構・施設整備を実施している。土地は、公有地化予定面積の約93%（一部民有地を除く）を取得している。発掘調査は、今までに16回実施しており広大な史跡範囲を効率よく調査するため、学識経験者を中心とする調査指導委員会を設置して指導・助言を受けながら進めている。遺構・施設整備内容の検討は、歴史系だけでなく建築や造園など広い分野の研究者で構成している整備検討委員会によって進めており、平成17年度には「河越館跡史跡整備基本設計」を策定した。続いて、平成19年度には、遺構整備・施設整備についてより具体的に検討した「河越館跡（第1期）史跡整備実施設計」を策定した。なお、この「実施設計」を基本に河越館跡（第1期）史跡整備工事を平成19年度から平成21年度の3カ年で実施。平成21年11月15日「国指定史跡河越館跡史跡公園」として開園した。公園は、次世代に伝えるべき貴重な史跡である河越館跡の保存を図るとともに郷土学習の場、市民の憩いの場として有効な活用を目指すことを目的としている。また、「史跡の広場」「茶太郎広場」の2つにゾーニングされており、「史跡の広場」では、河越氏時代の遺構を中心に復元したものとなっている。一方、「茶太郎広場」は、中世の銘茶「河越茶」と深い関係があったと考えられる河越氏に因んで生まれた史跡公園のイメージキャラクター「河越茶太郎」が元気よく遊ぶ姿をイメージし名付けられた。広々とした芝生の中にある東屋とともに憩いの空間として利用でき、さまざまなお茶の木についても楽しめる広場である。

平成24年度は、史跡河越館跡の歴史的意義や文化的価値を広く理解してもらうための活用事業として「河越流鏑馬」や研修、学校への出前授業などを実施した。平成25年度では、活用事業を更に充実させていくとともに、23年度をもって完了した発掘調査の成果を精査、検討し第2期整備へ向けての準備を行う。



復元された堀



史跡公園の様子

## 市指定史跡「永島家住宅（旧武家屋敷）」

〔所在地〕 川越市三久保町5番3 〔敷地面積〕 1184.62㎡（市有地）

〔建物構造〕 木造平屋 〔建物面積〕 177.94㎡（市所有146.53㎡ 個人所有31.41㎡）

## 【概要】

永島家住宅は、川越城南大手門近くの侍町であった南久保町（現三久保町の一部）の一角に構えられた武家屋敷である。古文書や絵図資料から、その武家屋敷に住んでいた武士は、松平大和守家時代には250石から350石、最後の松平周防守家時代には110石の武士が住んでいたことがわかっている。また、特に御典医の居住が知られ、周防守家の石原昌廸は、30人ほどからなる藩医の筆頭の立場にあったことがわかっている。

明治時代には、石原家そのまま屋敷としていた。石原昌廸の二男・久は、東京帝大に進学しドイツ留学を経て帝大の口腔外科初代教授に就任している。久が留学する頃から永島家が屋敷を借りて住み始め、大正6年に石原氏から買い取っている。

## 【経緯】

平成

17年7月 永島家住宅の市買取り保存整備要望がオンブズマン会議に申し立てられる。

11月・12月 川越市文化財保護審議委員会が文化的な価値を判断するために調査。

18年3月27日 永島家住宅（旧武家屋敷）が市指定文化財になる。〔種別・史跡 面積1184.62㎡〕

21年6月 史跡の一部（302.46㎡）が永島氏より市に寄付される。

22年8月 東海大学情報デザイン工学部羽生研究室が建物調査。

9月 史跡の残地全部（882.16㎡）が永島氏から市に寄付される。

23年6月 「歴史まちづくり法」の「歴史的風致維持向上計画」の「重点区域における施策・事業」に位置付けられる。

7月 建物（全体の約8割、146.53㎡）が、永島氏から寄付される。合わせて残り約2割の建物を市が無償貸借することを契約する。

8月 第1回永島家住宅保存管理計画策定委員会

10月 第2回永島家住宅保存管理計画策定委員会

24年1月 第3回永島家住宅保存管理計画策定委員会

3月 第4回永島家住宅保存管理計画策定委員会

（永島家住宅保存管理計画書完成）

庭園の一般公開を開始する。



【平成24年度 見学者数】 毎月第3土曜日 9:00～16:00公開

公開月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
見学者数(人)	172	86	40	54	38	52	1,575	57	20	77	15	161	2,347

※10月21日(日)川越まつりに伴う特別公開、3月30日(土)春まつりに伴う特別公開の見学者数を含む。

## ◇資料 目次

○教育委員会事務局組織の改正	59
○委員会等一覧	60
○歴代教育委員会委員長	61
○歴代教育長	61
○歴代教育委員会委員	61
○事務局組織の主な事務と教育機関	62
○主な教育機関の組織と事務	63
○教育施設配置図	64
○市立学校一覧	65
○市立学校施設の現況	67
○児童生徒数と今後の推移	71
○小・中・特別支援学校職員の数	73
○高等学校教職員の数	73
○私立幼稚園一覧	74
○私立幼稚園数・園児数・学級数の推移	74

## 資 料 編

## 教育委員会事務局組織の改正

昭和27年11月	教育委員会事務局設置、総務課、学校教育課、社会教育課	
昭和33年5月	係の新設	
	総務課……庶務係、経理係	
	学校教育課……学務係、指導係	
	社会教育課……社会教育係、社会体育係	
昭和38年10月	保健体育課の新設	
	総務課……庶務係、管理係	
	学校教育課……学務係、指導係	
	社会教育課……社会教育係、社会体育係	
	保健体育課……保健係、体育係	
昭和43年11月	学校給食企画課の新設	
	学校給食企画課……調査企画係	
昭和44年8月	学校給食センターの設置	
	学校給食企画課の廃止	
昭和49年7月	社会教育課に2係新設	
	社会教育課……同和教育係、文化財係	
昭和52年8月	学校給食課の新設	
	学校給食課……庶務係、管理係	
昭和56年8月	総務課に1係新設	
	総務課……施設係	
昭和58年4月	教育次長2人制となる	
平成元年7月	2部5課12係となる	
	管理部……総務課	庶務係、企画調整係
	教育財務課	管理係、財務係
	指導部……学校教育課	学務係、指導係
	社会教育課	社会教育係、同和教育係、文化財係
	保健体育課	保健係、体育係、給食係
平成6年4月	2部6課15係となる	
	管理部……教育総務課	総務係、企画調整係
	教育財務課	管理係、財務係、学童保育係
	保健体育課	保健係、社会体育係、給食係
	指導部……学校教育課	学務係、指導係
	生涯学習課	生涯学習推進係、社会教育係、同和教育係
	文化財保護課	管理係、調査係
平成9年4月	保健体育課給食係を第一学校給食センターへ移す（管理係として）	
	2部6課14係となる	
平成11年4月	2部7課17係となる	
	生涯学習部……教育総務課	総務係、企画調整係
	教育財務課	管理係、財務係、学童保育係
	生涯学習課	生涯学習推進係、社会教育係、同和教育係
	市民スポーツ課	スポーツ振興係、国体準備担当
	文化財保護課	管理係、伝建地区担当、調査係
	学校教育部……学校管理課	学務係、教職員係
	教育指導課	指導係、保健係

平成13年 4月	生涯学習部に国体推進室を新設 生涯学習部……国体推進室 国体推進担当
平成15年 4月	生涯学習課に高階地区公共施設整備担当を新設、同和教育係を人権教育係とする 国体推進室の廃止
平成16年 4月	生涯学習部に高階公共施設整備推進室を新設 生涯学習部……高階地区公共施設整備推進室 高階地区公共施設整備推進担当
平成18年 4月	学校教育部に学校給食課を新設 学校教育部……学校給食課 管理係、学校給食費係
平成19年 4月	生涯学習部を教育総務部に名称変更 係制を廃止し、グループ制を導入
平成20年 4月	高階地区公共施設整備推進室の廃止
平成22年 4月	教育総務部に地域教育支援課を新設 教育総務部……地域教育支援課 地域教育支援担当、人権教育担当 旧生涯学習課の事務は地域教育支援課と市長部局の文化振興課へ移管、旧市民スポーツ課の事務は市長部局のスポーツ振興課へ移管
平成25年 4月	教育指導課に生徒指導担当を新設、学校給食課に施設担当を新設

## 委員会等一覧

### ○川越市幼児教育振興審議会

委員…11人 任期…平成25年7月25日～平成27年7月24日

### ○川越市就学支援委員会

委員…25人 任期…平成25年4月1日～平成26年3月31日

### ○川越市社会教育委員協議会

委員…21人 任期…平成23年10月1日～平成25年9月30日

### ○川越市人権教育推進協議会

委員…18人 任期…平成25年4月1日～平成27年3月31日

### ○川越市小堤集会所運営委員会

委員…9人 任期…平成25年4月1日～平成27年3月31日

### ○川越市公民館運営審議会

委員…23人 任期…平成25年5月22日～平成27年5月21日

### ○川越市コミュニティセンター運営審議会

委員…10人 任期…平成24年4月1日～平成26年3月31日

### ○川越市文化財保護審議会

委員…12人 任期…平成25年4月1日～平成27年3月31日

### ○川越市立博物館協議会

委員…15人 任期…平成24年6月5日～平成26年6月4日

### ○川越市立図書館協議会

委員…14人 任期…平成25年1月17日～平成27年1月16日

### ○川越市立学校給食センター運営委員会

委員…15人 任期…平成23年9月1日～平成25年8月31日

## 歴代教育委員会委員長

氏名	就任年月日	退任年月日
岸 憲 夫	S27.10.5	S30.4.22
佐々木 文 蔵	S30.5.1	S31.9.30
竹 内 栄 吉	S1310.1	S39.9.30
橋 村 尚 中	S9310.1	S40.8.13
水 村 三 郎	S048.13	S42.11.30
内 田 秀 夫	S2412.1	S44.11.30
佐々木 文 蔵	S44.12.1	S45.10.12
内 田 秀 夫	S5411.9	S49.4.2
鈴 木 咸	S49.4.3	S49.12.20
鈴 木 咸	S49.12.25	S51.4.7
水 村 三 郎	S154.8	S62.1.15
関 本 定 雄	S261.16	H8.7.27
采 澤 好 子	H8.10.4	H10.10.3
佐久間 勇 次	H10.10.4	H12.9.30
齊 藤 信 子	H2110.10	H18.12.27
伊 藤 幾 造	H91.1.5	H21.3.31
星 野 明 徳	H124.1	H25.3.31
梶 川 牧 子	H524.1	

## 歴代教育長

氏名	就任年月日	退任年月日
江 原 四 郎	S7211.1	S32.9.30
大 塚 仁之助	S32.10.1	S35.9.30
斎 藤 芳 一	S5310.1	S51.9.30
斎 藤 芳 一	S1510.15	S55.10.5
村 田 和 男	S654.1	H7.3.31
大久原 秀 雄	H7.4.1	H13.3.31
星 野 明 徳	H314.1	H17.3.31
山 浦 秀 男	H714.1	H21.3.31
新 井 孝 次	H124.1	H25.3.31
伊 藤 明	H25.4.1	

## 歴代教育委員会委員

氏名	就任年月日	退任年月日	備 考
岸 憲夫	S27.10.5	S30.4.22	
佐々木文蔵	S27.10.5	S31.9.30	
橋本 正代	S27.10.5	S31.9.30	
青山 四郎	S27.10.5	S31.9.30	
西川 卯八	S27.10.28	S29.7.1	議会選出
佐藤仲治郎	S29.7.2	S30.4.3	議会選出
須賀喜久治	S30.4.1	S31.9.30	市町村合併による
浜野 真平	S30.4.1	S31.9.30	〃
新井 茂重	S30.4.1	S31.9.30	〃
松本 正夫	S30.4.1	S31.9.30	〃
石川 定彦	S30.4.1	S31.7.14	〃
長谷 嶺宗	S30.4.1	S31.9.30	〃
戸田 松雄	S30.4.1	S31.9.30	〃
小林玉之助	S30.4.1	S31.9.30	〃
加藤源四郎	S30.4.1	S31.9.30	〃
岸野們太郎	S30.5.19	S31.5.28	議会選出
金子 良雄	S31.5.28	S31.9.30	議会選出
竹内 栄吉	S31.10.1	S39.9.30	
仲 篤司	S31.10.1	S34.9.30	
橋村 尚中	S31.10.1	S40.8.13	
粕谷 武蔵	S31.10.1	S32.9.30	
粕谷 武蔵	S32.11.9	S36.11.8	
大塚仁之助	S31.10.1	S35.9.30	教育長
斎藤 芳一	S35.10.1	S51.9.30	教育長
内田 秀夫	S38.7.8	S50.7.7	
関口道之助	S39.12.24	S47.12.23	
水村 三郎	S40.4.1	H5.3.31	
佐々木文蔵	S41.4.7	S45.10.12	
鈴木 咸	S45.12.21	S49.12.20	
岩田 正	S47.12.28	S55.12.27	

氏名	就任年月日	退任年月日	備 考
鈴木 咸	S49.12.25	S51.4.7	
関本 定雄	S50.12.25	S54.12.24	
斎藤 芳一	S51.10.6	S55.10.5	教育長
田中 賢司	S52.12.24	S53.12.24	
田中 賢司	S53.12.27	H6.12.26	
関本 定雄	S55.7.28	H8.7.27	
岩田 正	S56.4.1	H8.6.19	
村田 和男	S56.4.1	H7.3.31	教育長
大久原秀雄	H5.4.1	H13.3.31	教育長
采澤 好子	H6.12.27	H10.12.26	
岡安 道夫	H7.7.1	H9.3.31	
伊藤 幾造	H8.10.1	H21.3.31	
佐久間勇次	H8.10.1	H12.9.30	
奥村 順一	H9.4.1	H13.3.31	
齊藤 信子	H10.12.28	H18.12.27	
長澤 仁志	H12.10.1	H16.9.30	
長澤 仁志	H17.4.1	H21.3.31	
深井 英男	H13.4.1	H17.3.31	
星野 明徳	H13.4.1	H17.3.31	教育長
白倉喜美枝	H17.4.1	H21.3.31	
山浦 秀男	H17.4.1	H21.3.31	教育長
相馬 實	H18.12.28	H22.12.27	
星野 明徳	H21.4.1	H25.3.31	
長谷川 均	H21.4.1		
後藤 佳子	H21.4.1	H25.3.31	
新井 孝次	H21.4.1	H25.3.31	教育長
梶川 牧子	H22.12.28		
原田 由美	H25.4.1		
長井 良憲	H25.4.1		
伊藤 明	H25.4.1		教育長